

令和5年度第2回新潟市北区郷土博物館協議会 会議概要

日 時：令和6年3月18日（月） 午後3時～5時

場 所：新潟市北区郷土博物館

出席委員：8名

間由香里、阿部美恵子、内山真野子、貝沼良風、北上あつ子、倉地一則、  
なぐも友美、本井晴信 (五十音順、敬称略)

欠席委員：なし

傍 聴 者：1名

事 務 局：(北区郷土博物館) 伊藤 健 館長、 芹野若子 主査  
神田直子 主査 (学芸員)、  
曾部珠世 会計年度任用職員 (学芸員)  
遠山裕茉 会計年度任用職員 (学芸員)

(北区地域総務課) 東理 守 課長

資 料：当日配布 (別添)

会議のあらまし

- ・令和5年度の2回目協議会を開催した。
- ・議事は、倉地会長の進行により、別添の会議次第に沿って行われた。それに対して委員から質問や意見などが出された。

## 会議概要

### 1 開会

(司会) . . . . . 神田

ただいまから令和6年度第2回新潟市北区郷土博物館協議会を開催します。

本日は、お忙しいなかお集まりいただきましてありがとうございます。

本日の委員の出席は8名全員出席で、今日の協議会は新潟市北区郷土博物館条例第21条により成立しています。傍聴の方が1名いらっしゃいます。本会議の概要を、後日、記録とともに、HP等に公表する関係で、写真撮影と録音を了承願います。

### 2 あいさつ . . . . . 倉地会長

本日は、お忙しいところご出席いただきまして、ありがとうございます。

令和3年、4年とコロナで苦労した期間がありましたが、ようやく落ち着いて今まで通りの活動ができるようになり喜んでいきます。今年には新潟地震から60年と節目の年であり、災害に見舞われながらも博物館がいろんな事業を展開され、市民に愛されている博物館だと感じています。それぞれのお立場から率直なご意見を賜り、よりよい博物館にしたいと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

### 3 あいさつ . . . . . 東理北区地域総務課長

みなさまには日頃より博物館運営にかかりまして、ご理解とご協力をいただきまして誠にありがとうございます。後期の事業報告と6年度の事業計画が議題に上がっています。皆様の忌憚のないご意見をいただき、しっかり来年に向けて取り組んでいきたいと思っております。

### 4 議事

(司会) 倉地会長から議事の進行をお願いします。

(倉地会長) では早速、議事に入ります。まずは会議次第の議事(1)令和5年度後期の事業報告について、事務局から説明をお願いします。

#### (1) 令和5年度後期の事業報告について

(伊藤館長) 資料1「新潟市北区郷土博物館 令和5年度事業報告」に基づいて説明。

(倉地会長) ただいまの説明について、ご質問やご意見はございますか。

## 【質疑応答】

- (本井委員) ・大量の古文書を購入できてよかった。大切に保管いただきたい。
- (北上副会長) ・ボランティア活動が順調にスタートしてよかった。継続的な職員のサポートが必要と感じました。  
長岡の展覧会で当館の葛塚縞の資料も紹介されていました。ビデオがよかったので、こちらで公開できないかと思いました。
- (遠山学芸員) ・ボランティアの皆さんの活動意欲や組織のまとまりが増えてきたので、来年度以降は自分たちでやりたいことをやってもらうためにサポートしていきます。
- (曾部学芸員) ・今回の映像は山口賢俊さんが撮影した映像をまとめた手織りのことだったので、今回の葛塚縞展は、産業のほうでしたので、公開していません。今後、道具はこんな風に使うんだよと紹介できればと思っています。
- (倉地会長) ・ボランティアについてですが、資料整理もしていただいている。文書館でも市民の皆さんに参加いただきたいと思っている。文書館と連携して共同でボランティアさんと資料整理ができるとよい。検討してもらいたい。
- (伊藤館長) ・古文書のお手伝いをしているのは、別のボランティアですが、会長がおっしゃるようなボランティアを育てていくのはこれからの課題だと思っています。
- (間委員) ・当校では3年生と4年生が博物館にきて、変わる道具についてや福島潟の干拓の歴史についてわかりやすく説明いただいた。新潟（みなとびあ）まで行かずとも精選された内容でとても良いので、北区の他校にもっとPRできるとよい。
- (伊藤館長) ・ありがとうございます。北区の学校はすべて、当館においていただける学校にはおいでいただき、来れない学校には、出前授業をさせていただけるようアピールさせていただきます。
- (阿部委員) ・私は西村満展がとても良かった。ここは特に無料で入館できるこの辺

で唯一の博物館でこの意義は大きいと思います。皆が気軽に来れるような場所にずっとあり続けてほしい。

(内山委員) ・間校長先生と同じ意見ですので、博物館の方からコーディネーターにもスケジュール等をいただきましたので、また年度始め、新しい先生になりましたら、こちらの博物館をぜひお願いします。と伝えていきたいと思っています。

## (2) 令和6年度の事業計画について

(伊藤館長) ・令和6年度の事業計画について説明。

(倉地会長) ・ただ今の説明につきまして、ご質問ご意見がありましたらお願いいたします。

### 【質疑応答】

(貝沼委員) ・郷土芸能の公演の目的の1つに、担い手不足の解消が考えられると思うのですが、実際公演をすることで、どのような効果が考えられるのでしょうか。

(伊藤館長) ・郷土芸能を知らない方もいらっしゃるかと思いますが、公演をすることにより、知っていただく機会にしてみよう。これからも続けようということを実感していただく。見る楽しみから演じる楽しみを知る入口になればと思います。経験のない子供たち、大人が、少し体験することによって自演することでの楽しみの入り口にきっかけになればと思っています。

(なぐも委員) ・ボランティア研修会は雰囲気も良くて意欲もあってよかったのですが、ただ単なる仲良し会終わらないように上手にちゃんと活用して使っていけばいいかなというふうに感じました。どんどん博物館盛り上げていければなという風に思っています。

県のミュージアムパスポートは特に大きな博物館はあんまり入ってなくて小さなあまり聞いたことのないような博物館や資料館も多く取り込まれているので、ああいうものを活用してもらおうと費用対効果が大きいというか、もともと興味のある人が手にするもの、また購入するも

のなので非常に効果があるなという風に思いました。紙の媒体としては力を入れていただくと、非常に好きな人が手に取るんじゃないかなというふうに思い、活用していただければと思いました。ふるさと村の出張実演、新聞では終わった後に記事になるので、情報を事前に SNS で発信してもらいたい。インスタとかをやって情報発信をして博物館に行ってみたいな一と誘客になってもらいたい。昨年こども作品展の作品数が少なかったが、今年はどうやってあつめますか？

(伊藤館長) ・こども作品展ということで分野を取り払ったので、いっぱい出品されると思って、制限を設けてしまったため少なくなったようです。制限を取り、学校への連絡を密にしていこうと思います。

(本井委員) ・今年度の講座では、区内の記念碑を紹介したのですが、来年度も機会をいただけるので記念碑の話をもう少しバージョンを変えてやろうと思っています。

(阿部委員) ・なぐも委員がおっしゃたインスタの件ですが、情報発信は紙ベースと SNS 両方がいいなと思っています。両方見れる人と 1 つしか見れない人がいると思いますので。

### (3) その他

(伊藤館長) ・公の施設にかかる受益者負担の設定基準について説明。

## 5 閉会

(司会) . . . . . 神田

それでは以上をもちまして終了とさせていただきます。どうもありがとうございました。